

No. 65 **AUTUMN 2017**

RESEARCH FO

our innovations are Sive approach to problem

addition, in this day

t such a time that we

RFOUNT つに迫る universities taced

KEIO UNIVERSITY OPEN RESEARCH FO

連載

ようこそ、新任教授/ 齊藤 邦史・青野 真士・永田 智子 When I was young/清木 康 私の推薦図書/内藤 泰宏 私にうつるSFC

KEIO SFC REVIE

特集

- 02 QRFのひみつに迫る
- ○4 SFCは実験をくりかえす場所 加藤 文俊 (ORF2017実行委員長/環境情報学部教授)
- ○8 空間をゆるやかに共有する鳴川肇 (ORF2017実行委員/政策・メディア研究科准教授)井上恵友 (環境情報学部3年)
- 10 看護医療学部とORF 藤井 千枝子 (ORF2017実行委員/看護医療学部教授)
- 12 ORFを、さかのぼる 熊坂 賢次 (慶應義塾大学名誉教授)
- 14 目で追う、ORFのこれまで
- 16 ORFすごろく with カモ
- 18 新たなSFCの「顔」

河添 健 (総合政策学部長) 濱田 庸子 (環境情報学部長) 小松 浩子 (看護医療学部長)

村井 純 (政策・メディア研究科委員長) 武林 亨 (健康マネジメント研究科委員長)

田中 浩也 (SFC研究所所長)

21 裏で支えるORF事務局

佐藤 亮介 (学術研究支援担当) 林 伸哉 (学術研究支援担当)

22 Designer of ORF

荒牧 悠 (2015年政策・メディア研究科修了) 辻 航平 (2013年政策・メディア研究科修了)

連載

- 26 ようこそ、新任教授 齊藤 邦史(総合政策学部専任講師) 青野 真士(環境情報学部准教授) 永田 智子(看護医療学部教授)
- 32 When I was young 清木 康 (環境情報学部教授)
- 36 私の推薦図書 内藤 泰宏 (環境情報学部准教授)
- 38 私にうつるSFC
- 40 From Editor



しい点ではありました。 より減ってしまうんです。

どのように調整するべきか考えた

展示の希望者も増えているの

で、展示資格を得るための条件を少

し変えることにしました。

IS A SFCは実験をくりかえ 今年の ORF で掲げられたテ 「実験する精神」。 実行委員長を務める加藤文俊先生 今年の ORF への思いを伺った。

Forum (以下、 うな印象をもっていらっ 藤先生はOpen Research ORF) にどのよ しゃいます

のバロメーター

●ORFはSFCが元気であること

る気がしています。 たしているので内心面倒だなと思い RF当日まで段取りや準備でどたば ベントが年間のリズムをつくってい ることは楽しみでもあるし、このイ 一度の大切なイベントだと感じてい つつも、やはりSFCにとって年に にORFに参加しています。 僕はSFCに着任してから継続的 一教員としてORFに参加す 例年〇

災の影響で卒業式も中止になり、新 だからこそORFは開催しようとS 止になりました。しかし、そんな時 始まるという変則的な学期となりま 年度もゴールデンウィー 東日本大震災が起こった年です。 した。当時は全国に無力感が漂って 一〇一一年開催時のORFですね。 これまで特に印象的だったのは たので、さまざまなイベントが中 ク明けから 震

> FC全体で一致団結しました。 とのバロメーターという感じです がSFCの精神なのかなと思いま ORFはSFCが元気であるこ それ

●ORF実行委員長として

な試みはあります 例年と異なる部分や今年の新

望者にやむなくお断りしなければな ならない。そうなるとセッション希 自体はとても喜ばしいことなんです どん増えているんですよ。そのこと りするといった状況になるんです 限られた空間の中で調整しなければ が、なにせ二日間という短い時間と た展示とセッションの二つがありま ね。その点が悩みどころだったんで れるスペースが例年より狭くなっ らなかったり、一つの展示に与えら す。ここ何年 のプログラムは主にブースを利用し ご存知かもしれませんが、 かで出展希望数がどん

とセッションの間に余裕をもたせる 今年の試みとしては、 セッショ

ります。 じて展示ブースの申請ができるとい 展示資格者は要件を満たした数に応 であれば成果を公にする責任がある 所です。もし調査研究をしているの や自治体といった外部の研究パー もともとORFは、 やスポンサ その成果報告をする場でもあ この前提を踏まえた上で、 と出会うための場 研究室が企業

整した結果、

すべての応募者がセッ

は多かったようでしたが、

何度か調

トをされていました。やはり応募者

(環境情報学部准教授) が委員長と

てセッションのタイ

ムマネジメン

という点です。

昨年度は中澤仁先生

ションを開催できたようでした。

すく言うと「研究会」を担当してい 専任教員であることです。 会シラバスに名前が掲載されている る先生は出展できます。 まず一つ目の要件としては、研究 わかりや

間ってとても重要なんです。

聴講し

た人が講演者に質問したいというこ

カッションが終わった途端に「次が 間的に余裕がなかったのでディ 募者の希望がすべて通った反面、時

うことになります

ス

ありますから、会場から出てくださ

」という案内をせざるをえなくな

実は、ディスカッション後の時

しょう。もう一つは、非常にマニア されて必要な調査研究だと思われて あるということは既に社会的に認知 数の教員(最低五名)が一つの研究 リーでは外部から資金を獲得して複 る研究であるということ。 に所属するラボラトリーが行ってい いる証なので、企業は出資するので の研究ですね。一つはSFC研究所 もう一つの要件は、外部組織等と そもそも共同研究のオファー マに基づいて研究をして ラボラト いま

だから、全体のセッション数は昨年

ところに時間的に余裕をもたせるの

ただでさえ希望者が増えている

年はセッションの前後にゆとりをも

ともあるでしょう。

そのために、今

場設計に携わった鳴川肇先生(政策・

情報学部准教授)のものとは雰囲気 三年間携わった松川昌平先生(環境

がガラリと変わりました。新しく会

たせようとしています。

しかしなが

て、不公平ではないかという議論が ブースの面積が広くなることについ をたくさん集めている研究室ほど が多いという結果になりましたね。 あったので、今述べたような要件の 大事にしないといけない。 ついていないような萌芽的な研究も 可能性を秘めた研究であること。そ クなテーマではあるけれど、大きな もと調整すると、同じ広さのブース 会場設計は、今年は昨年度までの いった、世の中のほうがまだ追い 研究資金

ストリ のお祭りのような場で、 現していると思いますよ。 路、アジアの街並みのような感じで ごちゃごちゃしている。ある種の迷 かもしれませんが、 れど、路地に入ると入り組んでいて る特有の雰囲気でしょうね。メイン メディア研究科准教授)が作り上げ のちょっとしたカオスな状態を表 雑多でそれを嫌がる人もいる があって統一感もあるけ 僕はむしろSF

> 空間でこそORFが仕上がっていく んでしょうね。

展示方法です」と告げられれば、 考え方がすごく良かったので、 学びや経験に基づいて、 ません。そして、 ながら展示することになるかもしれ めて見て、悩んだり文句言ったりし 年は鳴川さんが作ったイーゼルを初 ちもそれを継承するつもりです。 が磨かれていったんですよね。その うに調整していました。 と告げると現場は理解して、 ました。「今年もこの展示方法です」 作った展示空間に合わせて、 気がついたのですが、松川さんが の展示の仕方が年々うまくなってい 昨年までのORFを観察してい がハリの高さを使い勝手がいいよ 来年「去年と同 展示の仕方 自分たちの それぞ 皆さん 僕た 今

LAB IS THE MESSAGE

ORF は私たちの実験の ありようを「世に問う」ため の場所だ、と加藤先生は語る

KEIO SFC REVIEW No. 65

特集 QRFのひみつに迫る

生に反映されていると思うので、 運営の仕方やスタンスがある程度学

スの雰囲気からもさまざまな情

さんあります。その先生の研究会の 者への接し方から分かることもたく ですよね。もちろん展示内容も大事 に所属する学生にも会えるのが良い

がら発表したり、見てまわったりす できるでしょう。役割を切り替えな をもつとまた一味違った楽しみ方が

るとおもしろいでしょうね。

なんですが、ブースの雰囲気や来場

ことで、気楽に「実験」というコン 分たちのものにしていく。鳴川さん セプトで来年以降に繋げていけばい が手がける展示空間の初年度という 良したり調整したりしてどんどん自 のだと思っています。

その意味を探る! **FLAB IS THE MESSAGE**

気が伝わってきますね。 ーマである「実験する精神」の空 お話を聞いていると、 今 回の

ることにSFCの意義があるんじゃ です。この「実験」を絶えずし続け を先取りするという意味での「実験」 に新しいことを考えてまだ見ぬもの な動かし方をしてみましたとか、常 です。どういうことかと言うと、と る場であることが望ましいと思うん て常に実験的な試みを再生産してい そういう類の「実験」だけではなく げるために行うものだとイメージし けば、実用化、量産化、拡大化に繋 ていませんか。でもここSFCでは、 あえず作ってみましたとか、こん そうですね。 皆さん「実験」と聞

> 用がかさんだり、実現性が低いよう 究の成果を三年後に普及させたい」 わないと思います。 な荒削りなものであったりしても構 FCでの「実験」というのは多少費 できることではないでしょうか。 見つけたりするのはSFCの外でも の中に普及させたり効率的な手段を というイメージはもっていて構わな 空気を強調できるといいなと思って ないでしょうか。そういうSFCの いです。しかし「実験」の結果を世 もちろん、例えば「この研

クの場 ●ORFは教員同士のグループワー

それでも、多くの人にそれなりに楽 満足させることが難しいからです。 やる気や思いが異なるので、全員を は、教員それぞれでORFに対する これは大変だなと思いました。それ いう思いが第一ですね。 しんでもらえるものをつくりたいと 実行委員長を引き受けた時には、

プワーク(以下、グルワ)の場でも あると僕は思うんです。委員長と言っ ORFは出展者全員によるグルー

自己中心的になってしまうこともあ ているというような状況ですね。 す。そんな状態で百人とグルワをし とをつい最優先にしてしまうからで るんですよね。自分たちの展示のこ を重ねている。みんなのやる気や思 ではない。教員それぞれが意見を主 ても、強大な権力をもっているわけ いが大きいのはいいんですが、割と 時には譲歩しあってやりとり

てしまい、 んです。 球環境でも、資源は有限だというこ ぞれの教員も与えられた環境から何 じゃない」、「明日からやろう」と思っ は分かっていても「僕一人ならいい か反映されませんよね。電気をこま す。しかし、日々の行動にはなかな とはそれぞれ個人は理解していま 場面があるんですよね。例えば、地 かに気づいたり新たに学んだりする めに消さなければならないと理屈で そういった状況だからこそ、それ 意識が行動に直結しない

> 同士でグルワをしているんだ」とい うまくいくとは限りません。「教員

なんです。

そうは言っても常にそのグルワが

きるように、 との例として、 が言えます。 ORFについても似たようなこと 実際に起こっているこ 皆さん広めの面積で より多くの発表がで

> 時に「私は狭くてもいいよ」と言う ブースの申請をするんです。 たら、合計で五時間分の余裕が生ま れるわけです。そういう人が十 よ」となれば三十分のゆとりが生ま 有意義なので、一時間半でい ションをとれる時間があったほうが は二時間ぐらいパネルディスカッ ガラッと変わります。 るためには、教員全員の協力が必要 れますよね。このグルワを成功させ ションをしたいけれど、 人が仮に二割いたとしたら、 いのならば来場者とコミュニケー 他にも「本当 希望者が多 環境は そんな いです 人い

を教えてくださ SFC生にORFを楽しむヒン んじゃないでしょうか。

ましょう」とか自然に行動に繋がる ましょう」とか「じゃあ一緒にやり う認識が広がれば「今回は私が譲り

SFC生の皆さんの中には、 研究

る役割もあります。そういった視点 グルワの結果だという視点で鑑賞す の一員として発表する役割もあれ の役割をもっているんです。 方の視点をもつことが大事ですね。 の活動を見て、発表者と鑑賞者の両 はなかなかありません。他の研究会 けの研究会が一同に会していること 悪いことではありませんが、これだ 示や発表にエネルギーを注ぐことは 行くべきだと思います。 が所属する研究会以外の展示も見に と気が付くことができるので、自身 FC生も、こういう研究があるんだ ORFにおいて、SFC生は複数 ORFは教員百人でやっている 研究会の展 研究会

(構成:坂本 美佳)

加藤 文俊(かとう・ふみとし)

定性的調査法 デザイン、ファシリテーション論 委員長。専門はコミュニケーション 環境情報学部教授。ORF2017 実行

報を得ることができると思います。

また既に研究会に所属しているS



見てまわれば、自動的に研究会選び

のだろう」ということを考えながら ういう人たちと一緒に立っていたい ろう」、「来年自分はどのブースにど

Fでは先生の研究内容や活動を知る にも繋がっていきます。また、OR

ことができるだけではなく、

研究会

分だったらどんな展示ができるのだ

ることをおすすめします。「来年自

くらいは展示者としてORFに関わ

てただ見てまわることを否定するつ

んですよね。鑑賞者という立場とし

もりはありませんが、

在学中に一度

る資格、チャンスを既にもっている ます。そもそも、SFC生は展示す 会選びのために来場する人や初めて

RFに足を運ぶ人もいるかと思い

ORF2017 のテーマデザイン

KEIO SFC REVIEW No. 65

特集 QRFのひみつに迫る 目線の高さの上と下で空間の雰囲気を分ける試みです。を分ける試みです。を分ける試みです。にも展示ブースを「」(カギカッコ)にも展示ブースを「」(カギカッコ)のようにゆるやかに区分するようにイーゼルを隙間を空けて配置しました。火災時には消防隊員が火元まで最短コースで突入できるように考えています。さらに、このイーゼルは前防隊によって押し倒せる重さ、作りに設計されています。

てほ

実は気が付

1/2

7 ほし

17 点はな

1/2

ますフ

来場さ 来場さ はれ はあります。 カー カジ 衬

これでは、 これでは、 これでは、 については、 で、視線より下には展示物がごちゃ で、視線より下には展示物がごちゃ で、視線より下には展示物がごちゃ で、視線より上については、 を作ります。視線より上については、 を作ります。視線より上については、 を作ります。視線より上については、 を作ります。視線より上については、 と場を見渡すと人の質が、 を作ります。視線より上については、を作ります。視線より上については、会場を見渡すと人の頭がひょっこりく一ゼルの上から出て、あっちこっちで人が動いている様子が見て取れる。さらに、視線を上げると、それる。さらに、視線を上げると、それる。さらんが動いている様子が見て取れる。さらん、もちろん避難誘導灯も見える。し、もちろん避難誘導灯も見える。 です。このイーゼルは、本当はただです。このイーゼルは、本当はただです。このイーゼルは、本当はただが付かず、いつの間にか迷路みたいな空間に入り込んでしまう。しかしとこに何の展示があるのか、ということはちゃんとサインボードを見れば分かります。気が付いてほしいデザインというよりは、料理の出汁みたいに、うまい味噌汁だったな、あれはなんだったんだろう、くらいの存在感の方が嬉しいです。

で、視線よりの高さでイーの高さでイー

できる工夫をしました。せています。大切な展示

をしました。また、目。大切な展示空間を整

い

○展示に込められた思い 一一今回、○RFの展示 かにき 感じたことはあり 成す ŋ なする

、ル と生す。 フ 現 思 に レ ァ 在 っ と の力も借りています。僕が図面上での力も借りています。僕が図面上では加力しながら模型や試作品を作りました。百の出展団体が参加する展示の設計は私も初めてです。大変ですがそれを貴重な機会と捉えています。将来ものづくりに関わりたい学生にとって、大変良い教材になったと思っています。

ij ケ 0 展示設営ではあえていっかョンが浸透してい

合同でプロジェクトを進めている 研究会同士がなんとなく繋がってい て、人が行き来できる、ゆるやかに で、人が行き来できるような展示にした いなと考えています。 ORFでは三 年ごとに展示方法を刷新していま す。今年はちょうど展示方法を一新 する年です。昨年、あるデザインの 展示イベントで大きな火災事故があ りました。それを受けてこれまで以 上に防災規定が厳しくなりました。 視カメラと避難誘導灯が見えなけれ ばならない、とかね。会場を提供し てくださる東京ミッドタウンからも でも、昨年までのぐしゃぐしゃっ としたアジアの市場のようなけれ また、昨年までは研究会によって すースの広さに差がありました。そ もつくりたかったんです。 としたアジアの市場のような雰囲気 もつくりたかったんです。 をしたアジアの市場のような雰囲気 もつくりたかったんです。 をしたアジアの市場のような雰囲気 もつくりたかったんです。 また、昨年までは研究会によって がし今年は、出展団体ごとの割り当 て面積を均一にしようということが 実行委員会で話し合われました。し ぞれの研究の個性がはっきり分かっ

丸ノコなどの「」」 大リコなどの「」」 ものが効率よくきれいに作れるかなものが効率よくきれいに作れるかなものが効率よくきれいに作れるかを学ぶ機会になりました。こうしてを学ぶ機会になりました。こうしてを学ぶ機会になりました。こうしてを学ぶ機会になりました。こうしてをすることができます。同様にCGも作ることができます。同様にCGも作ることができます。同様にCGも作ることができます。同様にCGも行ることができます。同様にCGも行ることができると言いなどの「」と

4) し学 生に 向 け 0 X ッ セ ジ を

願

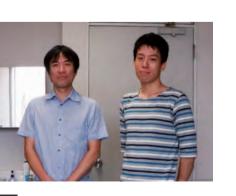
井上:研究会ごとにそれぞれ色があって、ORFへ臨む姿勢もさまざあって、ORFへ臨む姿勢もさまざまです。その中で、新しい展示手法を見た研究会の皆さんがどれくらいこのイーゼルたちで遊んでくれるかを見てみたいですね。新しい展示手法法は各研究会に宛てた挑戦状のようなものだと思っています。

展示館全体としては一体感が出る、、とは認識しています。しかし、そのとは認識しています。しかし、そのとは認識しています。しかし、その不自由さを使いこなしてもらえれば不自由さを使いこなしてもらえれば不自っとは

それに期待しています。それと並行それに期待しています。それと並行は不会出展団体が何を展示ブースで表す。これは実現が難しなのが理想です。これは実現が難しいものですが、この新しい展示手法を今後三年かけてうまく活用してもらえればと願っています。 専 政 **鳴** 門 策 川 (なる - ア研究科・ デザ (構成: イ ヾ ばじめ 建築 藤井 咲妃)

n の うえ け いす け

境情報学部三年 恵友



鳴川先生(左)と鳴川研究会の井上さん(右)

人の目線の高さに発表物が置けるようになっている

UP

2121

down

ての試みです。結果になるかは分かりません。初めもありましたね。ただ、どのようなておもしろいのではないかという声 めな声

指しているのでしょうか。 ――今年はどのような展示方法を目

提案されたの どの か 展 宗方法を

カーを展示

今年度より新しくなった展示

方法。それを設計、作成した 鳴川先生と鳴川研究会の井上

さんにその狙いやひみつを

伺った

会場のどの場所からでも避難誘導打が見え、監視カメラが会場全体を見渡せるようにしなければならなかったので、床上高さ一・六メートル、ちょうど目線の高さのイーゼルを提案しました。さらに昨年までの問題点として、電源コードや学生のカバンや配布物のストックなどが無造作に床に散らばっていて美観が損なわれていました。そこで今回提案なわれていました。そこで今回提案なわれていました。そこで今回提案なわれていました。そこで今回提案

14.

特集 QRFのひみつに迫る 8



いると、

ることは大切です。ですから、そうれでも自分の関心分野を他者に伝えな成果を出すのは難しいですが、そ

卒業プロジェクトま選マキーキュラムの性質上、必修科目が多く、

クトは選択科目とし

ができません。

きません。さらに、たとえ履修四年生になるまで履修すること

たとえ履修

自 げめ でその時も、「人を研究テート」を研究テートを研究テート ると思います。 の準備自体が、後の可能性を広分の頭で考え他者に表現するた

看護や医療を学ぶ者の 「実験する

を野で MESSAGE もつのでしょうか。 「実験」とはどのような意味での「実験」とはどのような意味が、看護や医療分配を表現である。

領域では実験はあまりて、一・ことができます。私はかつて生寒験に馴染みはあるのですが、看護実験をしてきたので 私にとって実験は積み木のようなが一つの積み木だとしてそれをどんが一つの積み木だとしてそれをどんが一つの積み木だとしてそれをどんがあいろいろな形に見えるし、形も変といろいろな形に見えるし、形も変えることができます。私はかつて生

> ケア領域での実験の捉え方にそのため、この機会に看護や つへ いいて

るにしても、払こうよりの倫理的配慮が必要不可欠です。研の倫理的配慮が必要不可欠です。研 す。対象が、、 そして、 て、そして次の瞬間は最善となるよ対象への負担をできるだけ少なくし として十 常に最も善いことをしたいけれど、 配慮を尽くさなければなりません。な気持ちを抱かないために最大限の うに努めます 対象が人であるため、 善いことと思っても、 分でないことがあるので、 私たちは対象者が不快 ンタビューをす 結果 研

大に対して実験をするという言葉に抵抗感をもつ人も多いと思います。実験は、社会にとってよります。実験は、社会にとってよります。実験は、目的は実験と同じだける活動も、目的は実験と同じだける活動も、目的は実験と同じだと思います。看護では人々の健康と思います。看護では人々の健康と思います。看護では人々の健康と思います。看護では人々の健康と思います。看護では人々の健康と思います。最近では大々のは表えると、実験も看護も人々のに考えると、実験も看護も人々のに考えると、実験も看護も人々のに考えると、実験も看護も人々のに考えると、実験も看護も人々のに考えると、実験も看護も人々のに対して実験をするという言 せを実現するために行っ い々

●成長の場としてのORF

正、 o me 具を見てくださった を子郁容先生(慶應義塾大学名誉教 を小川克彦先生(環境情報学部 がORF実行委員にと声をか がORF実行委員にと声をか がORF実行委員にと声をか なっていると改めて感じました。「若が安心しながら成長できる機会になり、このORFという場が、誰もとおっしゃいました。私も年長者として「僕はみんなを守ります」 年もまたORFに出展する!」と発 を加」を支援するスピリットがOR がないと感じた年もあるのですが、 かないと感じた年もあるのですが、 かないと感じた年もあるのですが、 かないと感じた年もあるのですが、 をのスピリットのおかげなのか「来 年の実行委員長である加藤文俊先生ださるのは安心感に繋がります。今方が「応援しているよ」と言ってく てくれたのです。大先輩である先生頑張れよ!」という形で背中を押し REVIEW の記事を見てくださっ員となったのは、この KEIO SI 機会となって (環境情報学部教授) もまた実行委 起して翌年 は私がそもそも のORFまでに成長する た気がします。 いの KEIO SFC

前に進んでいきたいですね。していろいろな方と手を取りながらます。私自身もORFの機会を生かう気持ちをもつことが大切だと思い

(構成: 坂本

専門は医療・看護統 看護医療学部教授 は医療・看護統合 ふじ 11 ちえこ)



11 月某日に訪れた葉山にて

前に進みながら頑張っていこう

と多くあるでしょう。

だからこそ、

としても、

そこから学ぶこともきっ

たとえ展示がうまく

いかなかっ

いった意味でもORFは良い機会だと思います。看護医療学部では普段の学習の中で臨地実習を行い、その際患者さんからフィードバックは得ることもあります。ORFでは、実習で会うことができない方々からもお話を伺うことができない方々からもお話を伺うことができない方々からもな話を伺うことができます。 は友人の外出支援を通して、社会ませんでした。しかし、その学生はまだそこまで認知が広がっていいますが、ORFに出展した当時医療や福祉の場で関心が高まって な成果を出すのは難しいですが、そか行えません。その制約の中で大き切なので、研究活動は短い期間でししたとしても、国家試験の勉強も大 KEIO SFC REVIEW No. 65 特集 QRFのひみつに迫る 10

した。ピクトグラム ことです。代表的な マークですが、駅や 公共空間で使用され います。今でこそピ いますが、 の R F に いますが、 の R F に

今でこそピクトグラムは、

をテ

ーマとして0

私の研究室の学生がピクトグラかなり前のことになります

が、

特集 ORFのひみつに迫る

してするでするで

もらイ走れうらルな(刺る C(笑)を楽ツべつな装勝で壁やか会の常さしている。も 乗しんでくれたね。 案しんでくれたね。 無力のでくれたね。 無力のでくれたね。 無力でしたなった。シータ館がなORFになった。シータ館で消える画面に、会場とネットかで消える画面に、会場とネットかいているかを証明したな。最高のているか、SFCがいかに先端をなんか、SFCがいかに先端をなんか、SFCがいかに先端をなんか、SFCがいかに先端をでしたよ。壇上で、会場かイートで冷やかされる先生たちのでくれたね。

がO あR C か あ ŋ え な い か 5

値●

□○□年に「二十一世紀は十二 で「21-12」というセッションを開 で「21-12」というセッションを しい企画をしたのがこれかな。これ は、SFCを代表する大物が集まっ て十二のセッションを行い、若手が その二人の間に入ってコーディネー タとして右往左往する、そんな対論 を作ったんだ。このセッションの特 を作ったんだ。このセッションを開 し、お互いの研究テーマやスタンスがまったく異なる先生同士を組み 合わせたところ。例えば、村井純さん(政策・メディア研究科委員長) と坂茂さん(環境情報学部特別招聘 と坂茂さん(環境情報学部特別招聘 と坂茂さん(環境情報学部特別招聘

をかね。こういう組み合わせって、とかね。こういう組み合わせって、とかね。こういう組み合わせって、とかね。こういう多様な学問領域の先生が発揮されるんだ。

そういう多様な学問領域の先生がたくさんいる特徴にもつと焦点を当てて、今までにない試みができればてて、今までにない試みができればてて、今までにないだり強みを出せるかがSFCのの展下は、専門を選えたところでどれだけ強みを出せるががSFCのの展下は、専門を共有する外でもSFCののRFにならない。それではSFCのORFにならない。それではSFCののORFにならない。それではSFCののORFにならないね。

「さんいる。そういう先生にもっとくさんいる。そういう先生になるはど、常に世の中の批判にさらされる炎上直前までいけるのがSFCの良さだと思うんだよね。

Ø 未来

Ô

R

政好な外た 策奇専の頃僕 報てつんの後 のいてな先半 先生気がたれるなどの大き気がある。 たちは、かいない。

21-12

(上) 熊坂先生作成の

(右) 歴代の ORF パン フレットが集結

ORF2004 の企画書

◆日時と場所 日時:11月23日(祝・火)・24日(水)9:00~20:00 場所: 六木木ヒルズ(森タワー40階)

ORFを、さかのぼる ~ そもそも、なぜ ORF が始まった のだろうか。ORFの黎明期を作り ORF に長年携わって

たく異なった専門領域で育ったから、どうしても理解不能なところがら、どうしても理解不能なところがあった。そんな時、故高橋潤二郎慶あった。そんな時、故高橋潤二郎慶夢のスペシャリストまで十数名が集まって、難解で分厚い本をじっくりまって、難解で分厚い本をじっくりまって、他分野の人がどんな発想で学問をやっているか、なんとなくで学問をやっているか、なんとなくで学問をやっているか、おんとなくで学問をやっているか、おんとなくで学問をやっているか、おんとなくで学問をやっているから、新しい学生たちを育てることができた。神成淳司さん(総育報学部准教授)や神保謙さん(総育なのもいいかもね。六本木では、するのもいいかもね。六本木では、するのもいいかもね。六本木では、ずるのもいいかもね。六本木では、ずるのもいいかもね。六本木では、で開催すれば場所代の予算も別藤沢で開催すれば場所代の予算も別

減が期らば以上それ来の な生待る今に〇代、者これを発まだる今に〇代、名

なんとことはいれば明られば明らえるとことをできるという。

構 専 慶 **熊** 造 門 應 **坂** 温 論 う イ 窓 義 塾 大 論

け 社会関係 h

ライフスタイル³塾大学名誉教授

かな。いい加加なる。いい加加なる。そうすれる。そうすれる。そうすれるがらの乱入もからの乱入もからの乱入もがらの乱入もがらの乱入もがらがなった新しい発想がある。とうすればないがある。いいかがない。もちろん、

ズに行こう、 たらSFCと と関係 断し深 たい 六本木ヒ

OR F

許可は取 って

いらかな。当時、僕は環境情報学部 長で政策・メディア研究科委員長の 長で政策・メディア研究科委員長の で、その関係でORFを任された。 で、その関係でORFを任された。 で、その関係でORFを任された。 で、その関係でORFを任された。 で、その関係でORFを任された。 で、その関係でORFを任された。 でやった。誰からも許可は取らない。 全部「俺の独断!」でやった。企 を部「俺の独断!」でやった(笑)。 全部「俺の独断!」でやった(笑)。 全部「俺の独断!」でやった(笑)。 たんだ。それもあらかじめ「黒いスーツに、黒っぽいネクタイで来てね」 と伝えて。みんなでお酒の入ったグラスを持って「こんなのヤバいだろ ラスを持って「こんなのヤバいだろ 子気で撮ってバいだろったがあったが



1999年のパンフレット

KEIO SFC REVIEW No. 65

目で追う、 ORFのこれまで

こちらのページでは、過去21回の パンフレットを掲載する。 ORFのテーマの変遷や、その様子 の変化を振り返ってみる。

学問ノシンカ



次世紀の芽





安住なき先駆 -Appreciating the Unclaimed-



Gardens for Ingenuity -断面の触感-



Clash of eXtremes



2003 2002 2001 2000 SFC version 2.0 SFC |天地共生:ユビキタス社会のかたち| OPEN FORUM **2001 FORUM**

天地共生 ユビキタス社会のかたち

「先端」そして「融合」 000

「先端」そして 「融合」



新時代の発想が ここにある



SFC version2.0 ここから始まる **EVOLUTION**



新世界を、 **PROGRAMMING**



ニティの創造



~未来技術戦略から福澤精神まで~

21 - 12

ディジタルユニバーシティ からディジタル社会への

1996はテーマが なかったカモ!?

ORFすごろく with カモ

多くのターニングポイントが存在 している。 その一部を、サイコロとともに ふり返ってみる。

第1回ORFが開催され SFCが盛り上がる

1マス進む

1997

1998

1999

2000年に突入! 革命をおこす

2マス進む



新時代について 考える

1回休み

特別メンバーが 集まって 話し込んでしまう

1回休み

2008

挑戦する

丸の内に 移動するも 筋肉痛をおこす

2マス進む 1回休み 2005

2004

SFCから 六本木へ 移動する

2002

1マス進む

2010





ミッドタウンに 移動するも 迷子になる

1マス戻る

2013 2012

ニコニコ生放送で 配信され、 テンションが 上がる!

1マス進む

2015

過去を ふり「かえる。」

1マス戻る



ORF2017 開催!

17 KEIO SFC REVIEW No. 65

特集 ORFのひみつに迫る

看護医療学部長





●これからのORFにむけて:

KEIO Nursing 100 Leading the Future

皆さんは、五十年後、百年後の世を投影することはできませんが、近を投影することはできませんが、近でろよく夢にみることがあります。ころよく夢にみることがあります。ころよく夢にみることがあります。でれば、科学技術の革新的発展を遂行アニメで描かれた空想の世界が現間をの変化や人口構造の著変を脅威と感じている私がいるからです。自本の人口は、五十年後に三〜四割が温暖化」による海水面の上昇を始めとする気候変動現象で地球はすでに抑制できないレベルにすすみ、地球環境は、これまでに類を見ないベクトルで変化を遂げていくと警告されています。人は、環境に適応する能力を備えていますが、個の能力をはるかに超える変化に対応するには、柔軟でた



く必要があるでしょう。看護医療の するだけでなく、健康増進や未病の するだけでなく、健康増進や未病の するだけでなく、健康増進や未病の 状態の維持をめざし、多様な視点、 多様な学問分野との連携・協働により、未知の健康課題にチャレンジしていかなければなりません。 年に「慶應看護100年」の記念すべき時を迎えます。ロゴに示すように、めざすは、「KEIO Nursing 100 Leading the Future」です。SFCで育む看護は、五十年後、百年後の存来来を語り合う異分野の仲間との交末来を語り合う異分野の仲間との交末来を語り合う異分野の仲間との交末来を語り合う異分野の仲間との交流を通して、ベクトルを自在に広げていくことができると期待しています。 はして頂ける提案をORFで出会えることを楽しみにしています。





政策・メディア研究科委員長

村井 純

年〇 -創設 F 0 前 か 一備に 思い入れは能にも負けないと思っています。最初は学生も(当たり前でいます。最初は学生も(当たり前でないから不安な学生生活のスタートだったと思います。私達自身が学生に活のスタートだったと思います。私達自身が学生に活のスタートだったと思います。私達自身が学生に活のスタートだったと思います。私達自身が学生に誇らしく思ってもらえるように研究での活躍ないといけないし、学生に伝わったのでした。そのためには、次第に自信と誇りある生活をすごしてもようになっていきました。新時代を切り拓くSFCが確立しつつあっためのイベントとしてしなければいがよる研究活動をお披露目するためのイベントとしてSFCに来てよいといけないと思う人手を過ごしているようになっていきました。新時代で、必ずある一つの質問をします。に、必ずある一つの質問をします。に、必ずある一つの質問をします。に、必ずある一つの質問をします。に、必ずある一つの質問をします。ところで、私は新入生やオープンところで、私は新入生やオープンところな人や研究領域を知る機会が多いろな人や研究領域を知る機会が多いろな人や研究領域を知る機会が多いろな人や研究領域を知る機会が多いろな人や研究領域を知る機会が多いの方法をはいる。この質問をします。

⊸ Š

 \bigcirc \boldsymbol{o}

の二○二○年問題」が話題 FCの魅力に多くの学生が はないだろう。この二十七 成果が評価されたといって 大人試への改革である。A をいだろう。この二十七 はないだろう。この二十七 はないだろう。この二十七 はないだろう。この二十七 が平価されたといって がいての魅力に多くの学生が はないが、見方を変えればら

総合政策学部長 河添 健

1

総合政策学部/環境情報学部/ 看護医療学部/政策・メディア研究科/ 健康マネジメント研究科/SFC 研究所 に新しい代表が就任した。 SFC や ORF の未来について語っていただいた。

新たなSFCの顔

アジアの中心が分からなどなど、このが分からなど、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、からからなど、このでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、

Sこが七て理Aをう題



▶学部長に就任されるにあたっての 抱負
 □○一七年十月一日から学部長に 就任しました。
 長年キャンパスの心身ウェルネス をおそれぞれの特質を生かし、輝く場所が見つけられるキャンパス」です。 でするまざまな課題を抱えていても、性別、外見、言語、民族、宗教、身体的・発達的なハンディキャップなどによって差別されることなく、一人のとりがその特性に応じて、輝く場所が見つけられるようなキャンパス」です。 かとりがその特性に応じて、輝く場所が見つけられるようなキャンパスを によって差別されることなく、一人のとりがその特性に応じて、輝く場から、 かとりがその特性に応じて、輝く場から、 かとりがその特性に応じて、輝く場かとりがその特性に応じて、輝く場から、



濱田 庸子

る予定です。かられている子定です。からいくついたいと思したいと思したいと思したいと思したいと思したいと思いますので、まずので、まずので、まずので、まずので、まずので、まずのでは、まずのでは、まずの変しく

°かー庸い実会

●ORFでの役割 ・プロジェクトの展示と 子研究会や大学院のサイ 子研究会や大学院のサイ 子研究会や大学院のサイ が組織され活動しています が組織され活動しています が組織され活動しています いした関

い下い口人期

まを思ジひ待 す活いエと

。 用して クトに りが、

いで関自

おっていただき

たとき味

●ORFの発展 ●ORFの発展 ●ORFの発展 SFCの活気ある多様な研究を学 SFCの大きな特徴ですので、ぜひ学 上での大きな特徴ですので、ぜひ学 生、特に学部生の皆さんには積極的 にORFに参加してもらいたいと 思っています。皆さんの若い自由な 発想で、自由闊達に意見を戦わせ、 のRFを進化・発展させていきま しょう。

たていしのゼFい し大 ないかと考えていましないかと考えています。 と弦っています。 と説明となっています。 と説明となっています。 と説明となっています。 と説明となっています。 と説明となっています」と説明となっています」と説明となっています」と説明となっています」と説明となっています」と説明 しつな新らレS遠

大大 「六六プロジェクト」、すなわち、後 「六六プロジェクト」、すなわち、後 「六六プロジェクト」、すなわち、後 に六本木ヒルズ地域となる六本木六 下Cのコミュニティの連携はいろい ろなところで進んでいました。 下Cのコミュニティの連携はいろい のところで進んがいました。 をしたときに、アートとインテリ ジェンスをコンセプトとした六本木 ヒルズでORFを開催するという、 た水本にルズを設定し、各方 を説得して実現しました。こうし で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にも特別な配慮を で、森ビルの方々にもやりがいの ある都心イベントとして定着しました。 をがて、などレが成力しイベント

あおりとく空 やな間をか まりをが `つ所めRれし 動もをはるなり

中な

中心に位置付けたい。 この二年間でどこまでできるこの二年間でどこまでできる インターシップ、留学支援なインターシップ、のできる

指活いキ多と

一力が生生か によれの となれの となれの となれる

より高いという。これる

れると思います。 い教育・研究をP より、キャンパスが がを目指したいとE 出る杭を伸ばせる

産株式会社によって新しく開発された東京ミッドタウンにもSFCの関係者がかかわりました。ここでも三て、新しいビルの大きな店子であった Yahoo! JAPAN の故井上雅博社た SFCを目指す高校生や父兄にとっても大切なイベントとなって B・Oの B・Oの リユニオンや、 SFCの特徴ある体制にあります。 SFCが都心での RFの大切な使命だと思います。 C中等部・高等部と連携し、キャンの Rを研究の組織としてまとめ Rを研究の組織としてまとめます。 SFCの未を創造していきます。 SFCの未を創造していきます。 SFCの未



●あらゆる人々に健康をもたらし、 医療・ケアの質の向上を先導するために 二○一八年四月、健康マネジメント研究科は(以下、健マネ)、変ント研究科は(以下、健マネ)、変わります! 看護学専攻と公衆衛わります! 看護学専攻と公衆衛門専門看護師、公衆衛生学、医療に目指すための二専攻制です。 こ○の学位プログラム(看護学、ロール・ジョーの学位プログラム(看護学、アの台の事で、この分野の先導者になるために、研究科の教員みんなで議論を強める横の進化を同時に目指すための二専攻制です。 「国専門看護師、公衆衛生学、医療でネジメント学)の各分野の先導者になるために、研究科の教員みんなで議論を強める横の進化を同時により連携を強める横の進化を同時にはいる大学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツマネジメント学、スポーツを持続を持続を表表し、



武林 亨

4



――今年からSFC研究所長に就任されましたが、今後の抱負はありますか。

(でもつと知ってもらって、ORFににもつと知ってもらって、ORFににもつと知ってもらって、ORFににもつと知ってもらって、ORFににもつと知っての顔があります。しかし世場としての顔があります。しかし世場としての顔があります。しかし世場としての顔があります。そして研究がという組織がまとめ上げているんですね。SFCは、学生と教員が力を合わせて研究ができるような、いろいろな仕組みが整きるような、いろいろな仕組みが整きるような、いろいろな仕組みが整きるような、いろいろな仕組みが整きるような、いろいろな仕組みが整きるような、いろいろな仕組みが整さるような、いろいろな仕組みが整さるような、いろいろな仕組みが整さるような、いろいろな仕組みが整さるような、いろいろなどのでは、までは、まで、一つによって違います。そのような立場によって違います。そのような立場にあり、

健康マネジメント研究科委員長

SFC 研究所所長



田中 浩也

どの

ねいいみ究研成究Rの究何の

の違いはあっても「実社会に対していたような例が増えるといいです。研究契約に繋がってほしいです。研究とではじめた新しい研究の「種」のとではじめた新しい研究の「種」が決定ではじめた新しい研究の「種」が、対部の人との出会のが、外部の人との出会のによって大きな共同研究になる。の違いはあっても「実社会に対していたような例が増えるといいです。の違いはあっても「実社会に対しているような例が増えるといいです。

裏で支える

ORF事務局

学術研究支援担当 (右)佐藤 亮介(さとう・りょうすけ)

(左)林伸哉(はやし・のぶや)

した。このような先生方からの自発 いた人でする。このような先生方からの自発 のな働きかけは、事務局として大変 ありがたいことでしたね。 このながたいことでしたね。 として、このような先生方からの自発 のな働きかけは、事務局として大変 ありがたいことでしたね。。

でのRFに関わっているのでしょうか。でのRFに関わっているのでしょうか。でのRF実行委員長は二~三年で交代することが多いので、過去の事例を踏まえながら、実行委員長は二~三年で交代することが多いので、過去の事例を踏まえながら、実行委員長は二~三年で交代することが多いので、過去の事例を踏まえながら、実行委員長をはじめ委員の皆さんのフォローをしています。 ロ RF 当日は、細かい荷物の搬送経路の案内やポスターフレームの貸し出し手続きをしています。また、セッションに参加される先生方の時間の段取りや、協賛いただいているスポンサーの方々へのご案内も行なっていますよ。

――事務局として、ORFはどのように変化してほしいと思いますか。 が年のORFは、開設当初と違っているように思えます。しかし、ORFは先生方の血の滲むような努力で でも行えるイベントになっているように思えます。しかし、ORFは、開設当初と違っての協賛金を元に成り立っています。でから、ORFへ出展される皆さんには、SFC外の人に対して発信しているのだという意識をもってほしいと感るのだという意識をもってほしいと感

がいらっしゃっていることもあり、どうしてもオープンキャンパスや学祭のような印象が大きくなっているように思います。しかし、もともとORFは協賛企業の方々や社会に対する研究成果発表の場です。SFCにはるいの意識をもって参加していただけるとありがたいです。
RFは協賛企業の方々や社会に対するに思います。しかし、ORFが目的にならないようにと願っています。出展さらないようにと願っています。出展さらないようにと願っています。出展さらないようにと願っています。出展さらないようにと解っています。出展さらないようにと解っています。出展さらないようにと解っています。出展さらないようにとがであり、手段でしかし、ORFはあくまでこれまでの研究成果を発表する場であり、手段でしかし、ORFに来を描くことができれば、皆さんのより良い研究に繋がるのではなく、ORFに出展する方も、ORFに来りるのではなく、ORFに出展する方も、ORFに出展する方も、ORFに出展する方も、ORFに出展する方も、ORFに出展する方も、ORFのために利用してほしいでする。それは研究に繋がるのではなく、そこから関係性を深めてほしいですね。

――ORFに臨む、SFC生に対してどのような期待をしていますか。でとのような期待をしていますか。のれる時間だと思っています。そのられる時間だと思っています。そのられる時間だと思っています。そのが、SFCのスピリットを一番感じられる時間だと思っています。そのおるが研究している研究の意義や、自身が研究している研究の意義や、自身が研究している研究の意義や、自身が研究している研究の言類を入れる時間だと思ってほしいです。

ŧ,

R O R F

の 事務局を

語

る

KEIO SFC REVIEW No. 65

ORFはSFCで行われている研究を広く知ってもらうために、展示やセッションで可視化してみせる場だと思います。誰でも参加ができて、意見を言うことができる。さらに、これからどのような研究をしていけばよいか、テーマ探しの場でもあるんです。特にセッションがその役割を果たしていますね。セッションをかしていろいろなテーマで語り、世の中の動きや問題を把握し、それらに対してどのようなアプローチができるかをみんなで議論する。そこでするかをみんなで議論する。そこでです。

ORF 2017のテーマデザイン

●学部時代のタ-――現在の活動 りましたか? 活動に至るまで、 で 印象的

大で学ぶよう! 作として開いたとの十月くらい! と一言おっし! と一言おっし! ぶような美術教育は受けていおっしゃったんです。私は美山中先生が「個展をやれば」のかと悩んでいました。そんうかと悩んでいました。そんのいまで、これからどうまで開いた個展ですね。四年生り、学部四年生の時に卒業制

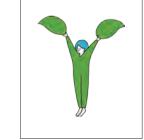
? の 仕学 事 時 をす をする上で生時代の経験は、 現在デ まザ すイ

SFCはデザインを学んでいる人 を描いてくれないかと、誘ってくれ を描いてくれないかと、誘ってくれ を描いてくれないかと、誘ってくれ を描いてくれないかと、誘ってくれ る人がいます。異なる分野の人々が まっているからこそ、一緒にやろ りと声をかけてくれる人が多いの は、SFCでデザインを学ぶメリットの一つだと思います。 ORFで多くの人に自分の作品を見 ORFで多くの人に自分の作品を見 でもらえたことが大きいです。また、 です。このいろいろな人と繋がれた を開きました。そうすると、誘っ た人だけではなく、それまで接点が た人だけではなく、それまで接点が という学生時代の経験は大きいです という学生時代の経験は大きいです なかったので、個展を開く自信がありませんでした。しかし、自分の中でも個展を開くことが最善のまとめでも個展を開くことが最善のまとめでも個展を開くことが最善のまとめでも個展を開くことが最悪いない。展示台も決めないと思い、やって自分が今まで考え、制作してきた作い、展示台も決めないといけない。展示台も決めないとといけない。展示台も決めないと思い、やって強力をできて、一本筋を通すという意味もあります。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったと感じます。その時の山中先なったとが学びの経験になったという意という。

だされた。 いた思さ いんの 今活動 のと 展望 主を教えて

人の無意識的な判断を露にする試入の無意識的な判断を露にする試入の無意識的な判断を露にする試入の無意識的な判断を露にする試入の無意識的な判断を露にする際にも、この違和感は大切なんする際にも、この違和感は大切なんです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけです。私たちは時に思い込みだけで

2015年政策・メディア研究科修了 □○○八年に環境情報学部に入学しました。一年生から坂井直樹先生(元政策・メディア研究科教授)の研究会に所属し、デザインとブランが先生(元政策・メディア研究科教授)の研究会に所属し、デザインを対した。では義足のデザインのプロジェクトに参加したり、自分で作品を作ったりしましたね。しかし、デザインを脳科学や認知科学分学の時代は、脳科学や認知科学分学の時代は、脳科学や認知科学分学の時では思えないかもしれません。しかし、デザインを脳科学や認知科学分学の高橋征資さんが代表のバイバイの高橋征資さんが代表のバイバイの高橋征資さんが代表のバイバイの高橋征資さんが代表のバイバイの高橋であっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていました。テレーであっていましてあった。テレーであるという会社で、アシスタントという会社で、アシスタントという会社で、アジスタン ・テー



荒牧さんがデザインした ORF2015のテーマデザイン

として働

て

つ会社で、コカ代表の

に。今年の初 アシスタン アシスタン ドCの卒業生

さデは いがっている。 コがり コンセプトを数が担当されてい を教えてくれています

今回のORFのテーマは「LAB IS THE MESSAGE」です。SFCの研究会の分野は多様であり、それぞれが独自の研究手法をもっています。「所のイメージをもたれてしまうので、SFCの多種多様であり、それぞれないが独自の研究手法をもっています。これにはどうしたら良いか迷いました。そんなある日、喫茶店で人と話している時に目の前のコップを見てふと「コップの中を研究会と捉えられないか」と思ったんです。最初はコップにストローが挿さっている画が思いがあると思えてきたんです。最初はコップに入った水だとすると、その他方があると思えてきたんです。最初はコップなどのバリエーションを考えました。それによって、SFCの研究会の取り組み方の多様性が表別できるのではないかと考えたんです。こうして、今回のテーマデザインが出来上がりました。

ることで私たちの認識も変わるのです。だから、違和感は自分の固定観念や偏見を崩してくれる存在だと思います。 を動かします。その行為にも自分の固定観念を偏見を崩してくれる存在だと思います。 を動かします。その行為にも自分の思い描くものに近づいていくので自分すばやく切り替わっていくので自分すばやすく、直感に頼っているという言いできる。目の前にあれば、イメージがずかびやすく、直感に頼っているとれるものに思ってしまい、カみすぎとそれを必ずやり遂げなければいけないように、どんどん自分の固定観に考えてはいません。計画を立てるとそれを必ずやり遂げなければいけないように、どんどん自分の固定観に表を壊しながら制作をしています。 それが最終的に、世界中の人に伝わるものに繋がるといいなと考えていなと考えていなと考えています。

(構成 田村 萌

修二**荒** 了〇**牧** 悠 五年政策・メディ , ィア研究科 (**はるか)**

KEIO SFC REVIEW No. 65

特集 QRFのひみつに迫る 22

マデ

マのデザインを担当しました。は、二○一五年のORFのメインテーランスとして働いています。最近でめにその会社を退職し、現在はフリー

·マデザインができるまで

震密でした。特に修士課程の時には、 自分の考えを具体的な形にして想い 自分の考えを具体的な形にして想い とたりするスキル、相手の考えを評価 とたりするスキルが磨かれたんで す。あの場での経験は今の仕事にも 繋がっています。やはりSFCは考 まていることを可視化したり、表現 えていることを可視化したり、表現 とかすることに長けている人が多 したりすることに長けている人が多 したりすることに長けている人が多 に今も学生の頃と変わらず、ずっと 研究している気がします。

在学していた頃の仲間との繋がりは今もあります。研究生活を送っていると、同じ学年の友達と仲良くなるじゃないですか。一つの部屋に何個かの研究室が集まったり、3Dプリンタがある部屋にみんなで集まったり、私たちはレビューもあったので結構仲良くなりましたね。それが今になって「こういうことがあるんだけどイラストだったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒牧さん」とか「映像制作だったら荒りさん」とか「映像制作だったら荒りさん」とか「映像制作だったら荒りさん」とか「映像制作だったら荒りさんだった。活動をされる大きなのもおもしろいです。活動をもいるのもおもしろいです。活動をないたりが表しているのでは、大学生活で得られる大きな価値の一つだと思います。

●変化するORF ――実際にORFのデザインを担当 ――実際にORFのデザインを担当 に比べて今のORFのデザインを担当

そうですね、ORFへの思いは変と思う形を発表して伝えていかない。ある時点で決断してこれでいいす。ある時点で決断してこれでいいまと思う形を発表して伝えていかなと思う形を発表して伝えていかなと思う形を発表して伝えていいると思う形を発表して伝えていかなと思う形を発表して伝えていかないは変

に普F 忘段の n や な発

見っていうものがあるんです。社会 の中で自分の価値を作り出すのは難 しく、なかなかやりたいことと仕事 しく、なかなかやりたいことと仕事 しく、なかなかやりたいことと を忘れかけてしまうんです。ORF はそれらを呼び起こしてくれる。自 なもやらなきゃいけないなと刺激を 受けます。 ただ、気がかりなこともあります。 今のSFC生は残留していますか。 ものづくり系って残留文化が根強い んですよね。自分が学生の時から比 べると残留する人が少なくなってい ると耳にしています。必ずしも残留 るらい制作に夢中になるのはいいこ とだと思うんですよね。残留して夜 にボロボロな状態でやりきったとい うSFC生の姿を見たいですね。

あ りますか。一今だから思うの Ó R F ^ の問題点

は

学生の時から思っていたんですけど、SFCにはORFを開催するのど、SFCにはORFを開催するのと、と思ってしまうんです。滅多にできることじゃない。それをもっとできることじゃない。それをもっと作り出せるかをみんなで話し合うことは大切だと思います。毎年ORFを開催するのとは大切だと思います。毎年ORFを開催するのとは大切だと思います。毎年ORFを開催するのというでは、Manaca は、Manaca は、Manaca

---二○一五年のORF「次世紀の---二○一五年のORF「次世紀の---二○一五年のORF」

下いたことがあります。私は在学中、だいたことがあります。私は在学中、だいたことがあります。私は在学中、だいたことがあります。私は在学中、だいたことがあります。私は在学中、だいたことがあります。私は在学中、大力を記伝、プログラムでは、さまざまな領域での制作や研究を通じてデザインのエキスパートを育成しています。授業では二週間に一度、先生方と学生全員が一緒になって研究に対してレビューを行う場がありました。その場で先生方とディスカッションをしているうちに、次第に自分のことを理解していただき、その時の繋がりでイベントのロゴデザインをお願いされるようになりました。社会人になってからもいろいると気にかけてくださっています。と気にかけてくださっています。と気にかけてくださっています。と気にかけてくださっています。と気にかけてくださっています。とのRFで実行委員をされていた寛康明先生(環境情報学部准教授)にロゴデザインを書いてほしいと言われて「学問ノシンカ」を書いたのが私とORFの最初の接点ですね。卒業後にはSFC二十五周年のロゴに応

か。

現在は何をなさっ

いる

のです

現在はデザイナーをしています。現在はデザイナーをしています。やっていることに携わっています。やっていることに携わっています。やっていることは学生の時とあまり変わりませんが、次世代のプロダクト、サービスっが、次世代のプロダクト、サービスっでどんなものになるんだろうということを考えながら仕事をしています。

人に支援してもらっているという事人に支援してもらっているという事人に支援しては元気にやっているという事ることは大事です。しかし、ただ毎年やればいいってものじゃないんです。開催して良かったよねと多くの人が感じられるような作り込みをしていくべきではないかなと感じています。
一をもそもORF以外の場で学生が自分の研究を発表する場ってあまりないが感じられるような作り込みをしていくべきではないかなと感じています。
一をもそもORF以外の場で学生が自分の研究をしている人が多いのでなかなか研究内容にぴったり合った発表の機会は少ない。それに学会では発表できるんですよね。ORFは、いろいろな方が来場されるので「私こういうの詳しくないからよく分からないけど、なんとなく好きよ」と純粋な反応を得られるところがいいですよね。ORFにしかないこの良さを、SFC生の皆さんにはもっと活用してもらいたいです。

平澤 茉衣)

航平 つじ ・こうへい)

辻

修二 三年政策・ メディア研究科

KEIO SFC REVIEW No. 65

夢して採用されました。その後 三○一五年のORFでは荒牧悠さん と一緒に「次世紀の芽」のロゴデザ インも手がけました。その翌年、O RF実行委員会から依頼されて書い たものが「かえる。」ですね。だか ら計三回も制作に関わらせていただ きました。 ※密でした。特に修士課程の時には、 漫密でした。特に修士課程の時には、

●今に繋がる学生生活

ようこそ、新任教授

できたばかりで、建物も新しかったんですよ。でも今となってはいろいたんですよ。でも今となってはいろいたのです。SFCが多いには、世の中の変化を先取りして、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えて、そのときどきの存在意義を絶えても別が変化していると思りんだを思います。としても期待されているという点はとしても期待されているように思います。 けこでう のラーを ことと と 学部生 一い理も できませる。主張されてだと思 あのと こ思います。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでれている。これでれている。これでれている。これでれている。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる めSFCで変わ

あ h ますF

挑戦

してみた

61

しての専門職倫理を学んだ弁護士なので、自分の信念を主張して行動を ので、自分の信念を主張して行動を ので、自分の信念を主張して行動を のです。そういう意味で、そのは、もともとはそういう意味で、 さち会う歴史の証人として自分にです。例えば、情報という意味で、そのはがある。その一方で、あえて自分にではダイナミックなルールが存在に目を向けて、その理由や仕組みを 自分の頭で考えることが重要ない。 に目を向けて、その理由や仕組みを 自分の役割は、学生によいの仕分けがいると、世の中の実際の変化に向きるいりのはまかが を変えるべきルールの背後にある、実 がな力を付けて、その理由や仕組みを きるようになります。SFCでの を対している。 でのではなくて、法律的な考え としている。 一見したところスタ と変えるべきルールが存在 のでしつかり考える習慣がの でのようになります。SFCでの を表えていた実践

プログラム開発の現場から離れて でいるのですが、一歩下がってそのがするのですが、一歩下がっても法律と 情報技術をキーワードにして取り組 んできました。だから、自分よりも 情報技術をキーワードにして取り組 んできました。だから、自分よりも 情報技術に知見のある方と協力し、 世の中が変化していく現場に立ち会 いたいと思っています。SFCでは によって変革を起こす」こと を至上とする雰囲気があるような気がするのですが、一歩下がってその がするのですが、一歩下がってその がするのですよ。僕自身、代理人と と思うんですよ。僕自身、代理人と

ようこそ、新任教授

毎年、SFCにはさまざまな分野の教員が着任する。 新たにSFCにやってきたのはどのような教員だろうか。 今号では、3名の先生方にお話を伺った。



齊藤 邦史 (さいとう・くにふみ)

総合政策学部専任講師 専門は新領域法学

年に総合政策学部を卒業しました。 卒業後はNTTデータという会社に 京本がら夜間開講の大学院に進学して に入学することにしました。 を般を勉強したくなり、法科大学院は は六年間勤めました。NTTデータという会社に ながら夜間開講の大学院に進学して た。その後司法試験と司法制度改革の理念か の経験を生かしていました。NTTデータに ながら夜間開講の大学院に進学して に入学することにしました。 その後司法試験と司法制度改革の理念か のがずが、システムエンジニアをして は六年間勤めましたが、腰を据えてとになり ですが、システムにしました。当時の の経験を生かしていました。当時の の経験を生かしていました。当時の の経験を生かしていました。 シーやサイバーセキュリティの重要 をんな時、SFCの大学院博士 をの後の表しているうちに、情報技術が が増しているうちに、情報技術が がはしていることが分かりました。 そんな時、SFCの大学院博士

を もシ つス たき っ開 か発 けか あ法 り律 気体に

課程に、社会人が在職したまま博士 号の取得を目指すコースが設置されていたことを知り、入学しました。 在学中には、個人情報保護法を所管する消費者庁の任期付き公務員として一年間ほど働いたあと、三菱東京 UFJ銀行へ移籍しました。銀行ではシステム企画部とコンプライアンス統括部を兼務して、サイバーセキュリティや災害対策等の危機管理を担当していました。そして、今年の四月から民法等の民事系の法律科目を担当する教員として着任しました。

もらいたいと思います。自分と異なる関心をもつ人が周りにこんなにもいるSFCのような環境は、社会になが意識高く人脈づくりに精を出すなが意識高く人脈づくりに精を出すなが意識高く人脈づくりに精を出すながのです。そんなふうでは、というとを奨励しているように関こえるかもしれませんが、そういう意味であることを関加しているように間こえるを見返りのためでなく、また間にして、方では、せっいていて、「何か」を削り出そうともがいるのです。何か興味のあることを目指すなりの道をが、だけのものでは、、同じようなことをおがいる。実はこういう風景はSFCの学生生活で、人が物をして、だけのものでは、でからにして、対がとても多様であるはずです。何か興味のよることを目指すなりの道を進んでいってほしいと思いの道を進んでいってほしいと思います。

これ が

か着

してみて、

どの

きっかいはこれ

たと頃

感の

研究と教育の両面で恵まれた環境で仕事をできるのは、とてもありがで仕事をできるのは、とてもありがでは良くも悪くも多様な学生がいて、は良くも悪くも多様な学生がいて、とですね。僕が通っていた法科大学院のようには目指しているゴールが一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つに絞られていないので、講義が一つな立場のとしては難しいですが、そういう環境でいろいる立場の学生の予備知識の水準やそれぞれの到達目標も異なります。ただ、教える側としては難しいですが、それの当時を表があるとも思います。

願 F V) C しの 'n

う こ S と F おS みい でろ 11/2 それを大事にしていろな人がいるとい

KEIO SFC REVIEW No. 65

れまでのご経歴を教えて

を体現していると感動したことを覚を体現していると感動したことを覚えています。 お立ることで、栄養物質の吸状に変形することがら「自律分散型」情す。このことから「自律分散型」情なができます。 なの理システムのモデル生物と言われています。 お菌を初めて見た時、 なが変を最大化することができます。 できます。 での理念「自律・分散・協調」 を体現していると感動したことを覚えています。 えをSれ報す収状の能の

し体 や的 いに実 まど際 すのに かよう なこと て第 いとは

願

V> S

す生

vy

37

粘菌は、寒天培地の上に置くと、 ・ といので、平面的に広がることに ・ といので、平面的に広がることに ・ とので、体の一方で、明るい環境が嫌いなので、体の一部に光を照射すると、 ・ そこで、寒天培地上に中心から を超えて伸びたことを検知して、他 を超えて伸びたことを検知して、他 を超えて伸びたことを検知して、他 の何本かの足に光を照射できるように した上で、プロジェクターで各溝に した上で、プロジェクターで各溝に した上で、光菌のある足が特定の長さ を超えて伸びたことを検知して、他 の何本かの足に光を当てることがで きるのです。さらに、粘菌の形状に がで光を当てる足を時々刻々更新 がじて光を当てる足を時々刻々更新 がして光を当てる足を時々刻々更新 ないて、地域のある足が特定の長さ を超えて伸びたことを検知して、他 の何本かの足に光を当てることがで を超えて伸びたことを検知して、他 の何本かの足に光を当てると、 といるのです。さらに、 ・ といるのです。 ・ といると、 ・ といるのです。 ・ といるのでは、 ・ といるのでは、 ・ といるのです。 ・ といるのです。 ・ といるのです。 ・ といるのでは、 ・ と

なユニークな並列処理を実行できる新たな専用の計算デバイスを作ってしまった方が、圧倒的に高速に答えを見つけられるんです。今は他大学を見つけられるんです。今は他大学を見つけられるんです。今は他大学を見つけられるとです。今は他大学を見つけられるとです。今は他大学を通して、アナログ電子回路や超伝導量子回路など、今のコンピュータとは違う物理デバイスを使ってアとは違う物理デバイスを使ってアとは違う物理デバイスを使ってアとは違うが理デバイスを使ってアムを通して、コンピュータを表るイノベーションを興すことを目指しています。

つ具

E COLLECTORS EDITION ERS

青野 真士

(あおの・まさし)

環境情報学部准教授

専門は複雑系、自然計算、 ポスト・シリコン・コンピューティング、生命の起源

にの環境情報学部に進学しました。 高校里の時は文系だったのですが、 当時はコンピュータグラフィックス やメディアアートに漠然と惹かれて いたんです。そのため、先進的な学 びの環境が整っていたSFCを進学 びの環境が整っていたSFCを進学 でからラグビーをしていて、大学に たとして選びました。また高校時代 が、この年は阪神淡路と惹かれて すが、この年は阪神淡路と惹かれて すが、この年は阪神淡路と惹かれて すが、この年は阪神淡路とだいて、大学に た。体育会ラグビー部に、公式戦でタイ な大事件があった年だったんで なりました。でも社会のたこともある した。体育会ラグビー部に入りま した。体育会ラグビー部に入りま な方になりました。そこから「自分 ようになりました。その流れに乗っていれば ようになりました。そこから「自分 ようになりました。そこから「自分 ようになりました。そこから「自分 ようになりました。そこから「自分 なりました。 が入ってしまい、結 ました。 が入ってしまい、結 なりました。 でも社会の大変動を目 た。 が入ってしまい、結 なりました。 でも社会の大変動を目 なりました。 でもは会の大変動を目 なりました。 でもなりました。 でもなりました。 でもなりました。 でも社会の大変動を目 なりました。 でもなりました。 でもなりまとしまい、 はたりました。 でもなりました。 でもなりた。 でもなり、 でも 分複 野雜

たね。ちょうどインターネットが一 と思うに至っためにホームペー ジを作っていました。しかし、ある 時間がある大学生のうちに深く勉強 もな勉強も良いけれど、たっぷりと 時間がある大学生のうちに深く勉強 するべきことが他にあるのではない か」と思うに至ったんです。そんな いた「複雑系の科学」に出会いました。井庭崇先生(総合政策学部准教 り二つ上の井庭先生が「複雑系勉強 り、そこで一緒に複雑系について学 が、そこで一緒に複雑系について学

な系 のの で科 うい ° Ó はど の

複雑系はコンピュータサイエンスと物理学と生物学が融合したようなと物理学と生物学が融合したようなと物理学と生物学が融合したようなと物理学と生物学が融合したようなと物理現象や生命現象であれていますが、実物理現象や生命現象であれていますが、実物理現象や生命現象のみならず、経物理現象や生命現象をも解き明かしていくことができるのではないか?こうした期待感が膨らみ、世界中でこうした期待感が膨らみ、世界中で大きなブームを巻き起こしていましたきなブームを巻き起こしていました。

ム」みたいな感じでした。ましたね。今でいう「人てましたね。今でいう「人ていますね。当時、「二十一世紀を解く最大の「二十一世紀を解く最大の「二十一世紀を解く最大の「二十一世紀を解く最大の いもそな先 生もさ生 物粘っは 物なのでしていられていら ししらメ よべしし うとやバ

ルで不定形っ ライム」 か。を用いた

粘菌はとてもおもしろい生き物です。「スライム」というおもちゃわいにも制約がありません。一個体にも制約がありません。一個体になってしますよね? それと同じです。お歯としてのすべての機能を発現できますよね? それと同じです。粘菌は均質な構造をしている細胞核が分布しており、切り取ると、その部分にも含まれている細胞核が分布しており、切り取ると、その部分にも含まれている細胞核が分布しており、切り取ると、その情報処理ユニットを持ちません。の情報処理ユニットを持ちません。にもかかわらず、個体全体にとってにもかかわらず、個体全体にとって

学びの場所なんですよね。文理の分学びの場所なんですよね。文理の分け隔てのない学際的な知識を身に付け、実社会の諸問題を総合的に把握して創造的に解決していくんだという理念があって、さまざまな分野のの教育が行われています。それまでの日本にはそういう人材が少なかったという反省から作り上げられたという反省から見たら役に立たなそうに見えることでも、自分がおもしろいと思う信念だけで突き進む。俯瞰なんですよ。やんでいる職人肌の人たちもいる。ことでも、自分がおもしろいと思うない。そして、本当に世の中が変わなんたちが生み出す学問、作品、コマーだと思うんですよ。 僕はSFCの人たちに、そういった何か一つに夢中になっている人たた何か一つに夢中になっている人たちと、本当の意味で協調できる人材になってほしいと思っている人たちと、狭く深く学んでいる人たちには、広く浅く学んできた人たちには、広く浅く学んできた人たちと、狭く深く学んできない。あれでスゴいんだな」と思ってもらえるような人になって思われたら負け。「あれでスゴいんだな」と思ってもられで、自己の中を変える大きな知事を俯瞰して大きない。もしたが、今はこうないではないでしないできた人たちが、今はこの内なる声に耳を俯瞰して大きないできない。ああ、あれはある。戦人になってほしいですね。環代には馬鹿になって、正直に進むできない。してなんとと言いが、今はこうしてなんとと言いるからしてなんとかの興味やでまたが、今はこうしてなんとかの興味やではないできています。大変ながもしれないのでする。僕自身、いるかもしれないのでする。僕自身、で本生は望んでいる自分がれたらしまがまないではないでしまか。

KEIO SFC REVIEW No. 65

の学

いて教えて

先生に、冒頭で話したテレビで見たいる方が増えてきていました。そのいる方が増えてきていました。その近くには高齢者の一人暮らしをして近くには高齢者の一人暮らしをして

卒論を書く時もテ

マは全然決ま

スウェーデンの高齢者の方のお話を先生に、冒頭で話したテレビで見た

いる高齢者の方の家に行って、私があったのですが、一人暮らしをしてたんですね。そこで少し無謀ではりあえず行ってみれば?」と言われりあえず行ってみれば?」と言われ

永田 智子 (ながた・さとこ) 看護医療学部教授 専門は在宅看護学

てや、 の当時、 んです。 理系では一般教養はもちろん、 れているのを見たんです。 ていることについてテレビで報道さ 者の方が寝たきりにならずに過ごし か迷った時もありました。 んでいくうちに、どの専門に行こう や化学を学んだり実験をしたりする の後半からなんですね。それまでは します。専門に分かれるのは二年生 一年生は科類ごとに共通の学習を 北欧のスウェーデンでは高齢 進行する高齢社会化につい 一年間さまざまなことを学

健学科という場所で人間の体や心のはなかった。そんな時、医学部の保す。ただ、医者になるという気持ち する研究をしたいと思っていたんで系か迷っていたのですが、人間に関 は普通は理科二類から入ると聞いた とを知りました。保健学科に行くに ことから社会的なことまで学べるこ ているんですね。もともと理系か文 一・三類、文科一・二・三類に分かれ 。東京大学は入学する際に理科 は東京大学理科二類 理科二類を受験することにし の出 しかしそ 生物 わっても、何度も再入院をする方がいらっしゃいました。彼らの治療はいらっしゃいました。彼らの治療はいらっしゃいました。彼らの治療はのまま東大病院の看護師に就職したのまま東大病院の看護師に就職したのまま えようと思ったんですね。当時、保ので、看護師の資格を取ってから考あえず目の前のことをやるタイプな私はあまり先のことは考えずにとり 内のように助け合いながら東大病院アットホームな温かい空気の中、身 己管理ができないために体が良くな 多かったんです。また、 で実習ができました。 した。でも人数が少ないからこそ、 私たちの学年は四人しかいませんで 健学科の看護を取る人は少なくて、 査をするなどの選択肢もあります 取らずに培養の研究をする、 とを知ったんです。 その時の雰囲気がすごく好きでそ 再び戻って来てしまう方もい

ので、

ました。

病棟に入ってすぐの頃は仕事に慣

ました。

と思い、保健学科に進学することにはり私はこの分野に興味があるのだ 入ってから看護師の免許を取れることは少し違って、私は保健学科に 実は、他の看護系の先生 もちろん免許を 社会調 が一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく、教授も一人しかいが一つしかなく 関心をもっていたことを思い出しま を学ぶことにしたんですね した。 題意識が芽生えてきました。 たきりで暮らしていることについて で学部時代に地域で高齢者の方が寝 題意識が芽生えてきました。その中でしたが、三年ほど経って次第に問れ、楽しむことしか考えていません 私の学部時代は看護系の教室

間を短くしようという取り組みがで院にいる期間がとても長かったんで院にいる期間がとても長かったんでのです。当時外国に比べて日本は病 医療処置が残っていても安心して家サービスを理解してもらい、多少のきたんです。患者さんに在宅看護の とを専門にしている部署です。 で暮らせるサポートをするというこ 年に、東大に全国の国立大学病院で マにしました。そんな中、 しをしていらっしゃるかを研究テ している患者さんが家でどんな暮ら して治療を受けたり、 で治療を受けたり、再入院したり修士論文では退院後に外来で継続 一九九七

退院後も自

いう解釈をしましたない。言えるようになったのではないかと言えるようになったのではないかとが、仲良くなることによって本音をが、仲良くなることによっていた方 した高齢者の方の群とそうではないいと位置付けました。そして、話をパニオンシップ」つまり友達付き合たんです。このような会話を「コン 「元気ですか」「今日何食べたんです一回または一週間に一回家に行き初と最後にのみ行く家と、二週間に 群で心理的に指標がどのようになる 究結果になったんです。 一応「一人 群の人は自尊心が下がってしまう研 まり差が出なくて、むしろ話をした か調べました。研究結果としてはあ か」と話をする家に分けることにし かない場合と比べないと分からない ことにしたんです。ただ、 いか、という仮説を立てて検証するよって高齢者は元気になるのではな を通じて、話し相手がいることに し相手になりました。この機会 一定の期間を設けて、 お話にい その最

思っていたのですが、

在は研究者になっています。

います。人々が、縁があって現

ので、

に支援するにはどうしたらよいか、 自ら暮らしたい場所で暮らせるよう

^のが一貫した研究テー

7

7

から現場でもう一度働こう

かと

ら派生しています。大学院を卒業し

在に至るまで、研究の中心はそこかの調査を博士の時から始めてから現とで相談に来ているのか、退院支援

具体的に患者さんがどのようなこ

に研究をしていたのですか。のことですが、具体的にはどのようらしをしているか研究をしていたと

患者さんが家ではどのような暮

も話さずに一人で暮らしている八十の部屋の中だけで一日ほとんど誰と と思います。高い塀に囲まれた立派ることを知ることができてよかった な家であっても、 研究を通して、 中に入ると、 いろいろな家があ 自分

な時間にコーヒーを飲んだり、少しはオシャレすることもありますよね。好き飼っていたり、お孫さんが遊びに来たりすることもあったり犬ををが全然違うんですね。家にいれば少が全然違うんですね。家にいれば少 年生の時に考えることがありましたしく暮らせるのかなということを四らしのサポートをしたら少しでも楽 すよね。そういう方でも自分の住みらではそういった内情は見えないで歳のおばあちゃんもいました。外か の研究にも生かされています。ね。この経験は、その後の大学院で 現場で実感しました。どのような暮 に帰れるようにすることが大切だと 夜更かしをしてみたり生活のリズム 決められたことを決められたように 家で暮らすことが大事なのだと思う 慣れた家の音や匂い、 らではそういった内情は見えない歳のおばあちゃんもいました。外 ういう生活も大事で、スムーズに家 も自分で調節することができる。そ んです。病院でみんな同じ服を着て、 雰囲気のある

します S F C 生 に メッ セー -ジをお願

まざまな授業を受けに行ったり、でいらっしゃる方がいますよね。さるFCにはいろいろなことを学ん

います。今の時代はSNSもあるし、を作るのがいいんじゃないかなと思ごとをもっている人とネットワーク してほしい。それは学生同士だけでを合わせて友人と話す機会も大事にをのかもしれませんが、そういった ちょ 題ではないかもしれないですよね。異なる視点の人から見ると大した問 ので、サーク 業を通して何か関心をもったら質問はなく教員に対しても同様です。授 解決するのが難しくなる。 専門分野の人とだけ繋がっている 時 知 をしに行っ もいろいろな分野の友人を作っていメールもある。だから言われなくて と、研究や勉強、それ以外の悩みも と思うんですね。やっぱり、 し、SFCだからこそできることだ いろいろなバックグラウンドや関心 う合ってほしいです。これは学生で、いろいろな視点をもった人とーークル活動をしたりでも構わない 代の特権みたいなものでもある っと聞きに行ったりすることを たり、 興味のある講義を まったく 自分の

柔軟にできたらいいのかなと思

(構成:平澤

茉衣)

KEIO SFC REVIEW No. 65

ようこそ、新任教授 30

さい。

永田先生のご経歴を教えてくだ

[身で

しました。

When I was young

思い出すということはなかなかでき ないですよね。記憶を想起する機械 械では記憶をして、 におもしろさを感じました。他の機 になるという可能性が見出せたこと 大変に惹きつけられ、ここで研 記憶系の構築とい 記憶したものを

ムにて検索すると、

をされていたのですか 学生時代には、どのような研究

夫先生 象があり、私はその中のデータベー ピューター 研究室に入りました。 キャンパスにいらっしゃった相磯秀 ピューターの研究を始め、 がシステムによって実現できるよう をしているうちに、記憶という機能 ンピューターのもつ記憶能力の研究 ス技術の研究に取り組みました。 そして四年生になって本格的にコン た。そこでは、ずっとコンピューター 学部に当たる工学部に入学し (慶應義塾大学名誉教授)の といっても多くの研究対 一 口 にコン コ 生の卒業研究のテーマです。 が分かり、その後、 脳がもつ能力の一 ンピューター

研究を続けるうちに、

作れない

した。そして、

実験を繰り返して研究を進めていま 専門性を深く突き詰めることでし うものに取り組みました。 した。文字列と数字列、 ングにより新しいシステムを作り、 新たな方法を考えたり、 く理解して、その技術を基礎として 当時の工学部の基本的な思考は、 ータと数値データを対象にデー スシステムを設計していまし 一つの研究技術を深 すなわち文 プログラミ

でいう卒業プロジェクトですね。 近い記憶システムを作る方法につい の記憶系には大きな違いがあること ミックに行う機能が挙げられます。 や状況に応じて記憶想起をダイナ て研究を始めました。これが、 コンピューターにはない、人間の の記憶能力と人間の脳 という単語をコン 人間の脳により 単にブルー タベースシステ 人間は文脈 S F C 四年 一つの意味をもつ」 年に「一つの言葉は 年に「一つの言葉は の数学モデル」を構 という新し 院博士課程を修了し、 という前提で作られ一つの意味をもつ」 タベースとは異 「一つの言葉は スである たそれまでの 意味をもつ」

つに、

で部屋にいるというシチュエーショ青を想起して「進め」と捉え、一人間は交差点でブルーと聞くと信号の ことができるのです。このように状ンなら「寂しい」という解釈をする 況を判断して記憶想起することを意 するデー 脈に応じて意味を解釈 味的計算といいます。 結果として出てきます。 ドをもったデー 私は状況や文 方で、 記憶想起



インドネシア EEPIS-ITS 講師への講義の様子 JICA プロジェクト (2006年)

明してい 約二千語を使って六万語の言葉を説 として構築しました。この辞典ではEducation)という英英辞典を対象 代英英辞典』(一九七八年·Pearson 共同で構想した研究テーマです。究は、筑波大学の北川高嗣先生と 最初のシステムを『ロングマン現 「意味の数学モデル」を基本とした コンピュ それを利用して

When I was young

学生にとって、教員はどこか遠い存在である。 しかし、そんな教員にも学生だった時代がある。一体どのような学生生活を送り、 それは、その後の人生にどのような影響を与えたのだろうか。 今回は、清木康環境情報学部教授に若かりし頃を振り返ってもらった。



(上) 1985 年 IEEE DCS 参加

(右下・左下)1982年 ACM Computer Architecture での研究発表と朝食

Masuch Singal

When I was young

報を選び出すことができるのです これは、今私の行っている研究の の距離によって関係性を判断して情 とそれらの間の距離を計算でき、そ 上で二つのオブジェクトを指定する のようなイメージです。 星が散りばめられている宇宙空 スとなっています。 私の学生時代と比べると、 その空間

想起させるかという点が、

次元のベクトル空間を作り出

しまし

なっています。

まな種類のデ

字と数字が基本的な対象でしたが、 現在では画像や音楽、 この分野の研究の対象は大きく広が りました。私が研究を始めた当初文 ディア情報も記憶系の研究対象に 映像のような

うなものでしたか。

学生時代の一

日の生活はどのよ



Dr. Mohammad Nuh(インドネシア元情報通信大臣、元教育文化大臣)と(2007年)

to Database Systems』(一九七五年:

Addison-Wesley・C.J.Date 著)と

いう有名な本があり、

それも研究室

日本語の論文は少なかったので、

外

的にも新しい研究分野だったため、

ました。当時、デ

ータベースは世界

八時まで毎日論文を読みふけってい

らいは、週に四回ほど研究室のメン

研究室に入ってはじめの三ヶ

月く

ーで集まって、

朝の十時から夜の

国のさまざまな基本論文を集めて読

んでいました。あと『An Introduction

いる人はおらず、

研究室のメンバー

吉の記念館の前で走ったり、

周りにデータベースのことを知って のみんなと一緒に読んでいました。

学院の時はやっぱりデータベース研 テニスをやっている人が多くて、 腕立てと体操をしたりしていまし ニスを教えてもらって一緒にやって た。そのおかげか体力はついたと思 ・ました。 スポーツも楽しかったけ ます。大学院時代には研究仲間で れど、

究が一番楽しかったですね。でも、 スキーやテニスなどのスポーツを やった後にいいアイデアが浮かぶこ

フィンランド・ユヴァスキュラ大学学長(当時)と(2008年)

MISSION, めの INNOVATION を先導するリ INNOVATION WITH VISION' メッ として活躍されることを期待し

だきたいです。

(構成:海老澤

そして実践(実学)を実現していた 慶應義塾SFCにおいて学問、研究 支える情熱「PASSION」をもって、 を形成する「MISSION」それらを 「VISION」それを実現する方法論 もすると良いと思います。 にはスポーツなど、研究以外のこと 良い経験になりました。皆さんも時 私にはよくあります。 それが

ね。 べるようになってしまいましたが やつです。 キサスハンバーグみたいな肉系をよ ね。研究の時間が長かったので、テ か二十二時くらいで、 た。帰る時間帯はいつも二十一時と と渋谷へご飯を食べに行きました く食べていました。カロリー また、大学の帰り道にはよく仲間 公園通りにもよく行っていまし 最近は野菜や魚をよく食 遅かったです の高い

- 最後に、 セージをお願いします。 S F C 生 け 7

SFCにいる皆さんには地球を 人類がよい方向へ前進するた S セージは "CHALLENGE to AND PASSION" & Cの皆さんに送り

インドネシア、スラバラ工科大学 ITS 学長との共同研究 プロジェクト・ミーティング(2012 年)

清木 康 (きよき・やすし)

をもって学問を追究してほしいです

べき良い方向を見極める VISION

ね。新しい時代を切り拓く構想

CHALLENGE やそして我々が進む

ています。そのために、

へ進む

環境情報学部教授 専門はデータベース、意味的連想処理、感性データベース

どのように記憶してどのように記憶 てくるようになりました。それらを 夕があり、それと同時にさまざ 今後も大変重要になって 多種多様なメディア タがシステムに入っ しい研 百五十本もの論文を読むことになり 文を三つくらい読んでいました。そ 表をし合いながら、 全員が初めて勉強する分野だったた を三ヶ月も続ければ、 ずっと論文を読んで、 みんなで一緒に勉強を始めまし

国際学会で発表することもありまし 語であるSQLという言語を実行す それから数ヶ月が経過して、 生活を送っていました。 と研究室にこもっての研究が中心の ました。学生時代は、 れていて、それを実際に使ってデー 日本では初めて動いたものだと言わ た。我々が作ったSQLシステムが 士課程の二年生までやっていまし それを四年生の秋学期くらいから修 や定義を行うためのデータベース言 という企画が始まりました。現在で ちでデータベースのシステムを作る 基礎知識として役に立っています。 るシステムを実際に構築しました。 も多く使われている、 ますよね。その時の経験が現在でも スを作 実験などをしてい デー 基本的にずっ

研究以外にも、

没頭していたこ

一日を通して論 だいたい 交代で発 - 夕の操作 自分た とはありましたか。

が クラブの仲間とは、 スキーに行きました。 冬にはスキー えあります。 ました。よく研究仲間とも よくスポーツをしていましたね レーニングをしていました。 オフシーズンの夏は陸 クラブでスキー 今でも付き合い 当時のスキー をして



インドネシア・スラバヤ熱泥流被災地視察(2007年)

KEIO SFC REVIEW No. 65

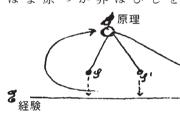


える 独創 考えたことのないことを考

部の水平線が表する過程を説明した図 ます。 矢印は、 な原理には到達できないと断定しま基づく論理的推論だけからは、新た う主張をこの間隙は表現してい 験を踏まえた跳躍が欠かせないとい に接しておらず両者には隙間があり が、弧を描く矢印で結ばれています 上方に浮かぶように配された「原理」 た書簡の 新たな原理に辿りつくには、経 アインシュタインは、 経験を表す水平線にわずか した図があります。 科学的発見に至 経験に 旧友に その

です。仮には、人間のでは、人間ので 新 たな原理へと至る上で、 直観・場合わせるの 経験で

異なる内的世界とりの人間にはりの人間には たく同じ知識を て辿りつ あり は異なり 自然科学は 直観によっありますか ける原 ま つ観



する困惑が事細かに淡々と綴られまと、調査目的でその社会制度に放りと、調査目的でその社会制度に放りから見れば奇妙奇天烈な社会制度から見れば奇妙奇天烈な社会制度 する困れ れど、 て、 題を考えてみたり いを持つのだろうか、などという問人権思想は、人類のそれとどんな違 は、没個性でもあることにも。そしらゆる分野に秀でているということ とに気づきました。 会体制を築いているかもしれないけ 人より遙かに効率的かつ機動的な社イの人々はものすごく優秀で、地球 おきに繰り返し読むうちに、 ちが相半ばする印象でしたが、数年あ」と感心する気持ちと呆れる気持なことをよくもまあ細々と考えるな ロイのお話を読まなければ、 最初に読んだ時は り、またおそらくはほとんど無一生考えることのなかった問題 個体差に乏しい集団で育まれる な問題です 人権に相当する概念がないこ もしました。 また、 「こんな奇妙 律にあ カミロ カミ

は、ラファティことっていいろよりらないことを批判するというより飛ばしています。斜に構えて気に入

ます。

最初に出逢ってから四半

数年おきに思いだして 読み返すごとに異なる

だけのように見え、爽快感すらありぐさの戯言を素直に蹴散らしている

どころで気取った学識を痛烈に笑いバラ撒かれています。また、ところがきだしの知性が無造作かつ乱雑に剥きだしの知性が無なのおかげなのか、しますが、むしろそのおかげなのか、

学術的な知識を体系だった形で学ぶのは四十代半ばからです。おそらく、

肉親と暮らし、小説を書きはじめた後は電気技師をしながら独身のまま

利です。 楽など手軽に持ち運べるものなら便いと思っています。書籍、映画、音れるトリガーをたくさん持っていた とってそんなト ぼくは自分の独創性を刺激してく てんなトリガーのひとつでラファティの短編はぼくに

行政組織と慣習」ロイ人の初等教育

行政組織と慣習」の二篇が収められロイ人の初等教育」「カミロイ人のに祖母さん』には「カミ

の抜粋という体裁を取っています。の抜粋という体裁を取っています。だの作品も、カミロイに調査にす。どの作品も、カ

ティが繰り返し書いた題材にカミロ思索へと誘われます。例えば、ラファ

イという異星人の社会制度がありま

は読み返し、 ぎましたが

ています。

カミロイ人の大人は、

誰しもが充

でも三人集まって合意すれば法律をいても適正な判断ができるため、誰分な知性と知識を持ち、何ごとにつ

味なので、そこからぼくが考えたこれのないトリガーです。ラファティの作品はほとんど無意えのないトリガーです。そんなかけがないスイッチがある、そんなかけがないスイッチがある、そんなかけがないスイッチがある、そんなかけがないのよう。ぼくの棚の片隅に挿さっています。ぼくの棚の片隅に挿さっています。ぼくの棚の片隅に挿さっています。 しを繰 いスイッチがある、そんなかけがに、ラファティによってしか入らの片隅に挿さっています。ぼくののが、いつも寝室の書が、がいがいになった文庫本は引越

いてい無意味でなに無意味かどうか 題も、 もそも、明らかに無意味に見えるにも代えがたい愉悦があります。 つて考えたことのないことを考えてんなことはどうでもいいのです。か との大部分もまた無意味ですが いるという瞬間そのものに、 てい無意味ですが。無意味かどうかわかりません。たし、考えぬいてみなければ、本当 明らかに無意味に見える問 れば、 何もの そ そ

創性が現れます。

いう問いかけは「生産性」というけいが貼りつけられたまったく別のベルが貼りつけられたまったく別のベルが貼りつけられたまったく別のお話です。アインシュタインの書簡にしても、独創的な直観を踏み台に、経験から原理へと至る道筋を示していますが、正しい直観を踏み台に、いますが、正しい直観を得る方法に 独創性が結果として何を産みだす

図の出典

May. 1952 Einstein A, "Letter to Solovine M."

なり、 ら原理へと跳躍する直観にこそ現れれます。科学者の独創性は、経験かすなわち無個性であることが求めら には「誰が何度行 客観性と再現性を重視する知的活動 実験や観察と 同じ解釈を得られる」こと、

ロイシャス・ラファティ『九百人のります。本稿では、ぼくが圧倒されが、それぞれの分野に数限りなくあが、それぞれの分野に数限りなくあが、それぞれの分野に数限りなくあが、それぞれの分野に数限りなくない。 り組んできたことに、見たこともなまれています。数え切れない人が取限らず生活のあらゆる局面に織り込 ワ文庫・浅野久志訳)を紹介します。お祖母さん』(一九八八年・ハヤカ 代にもいます。 いやり方で取り組む人が、り組んできたことに、見た

思いだすか思いつくかして、オチもをのかもしれませんが、だとすれば、 実際には苦心して組み立てていて、 実際には苦心して組み立てているががです。 ぼくが気づかないだけ

で飲んだくれたオヤジが、そのトや含蓄の存在は伺えません。

その場でる。酒場

お世辞にもそのような緻密なプロ りません。ラファティの短編には、 ような人間存在の深い闇の描写もあ

ッ

ってもオー

ヘンリー

のよう

短編 ルうのな

ロワルド・ダ

て思い浮かべたのは、ハインラインいでした。当時のぼくがSFといっいでした。当時のぼくがSFといったのが、ラファティとの出逢ち寄った旅先の書店で慌ただしく選大学生のころ、乗り換え時間に立 麗な伽藍のような作品群でした。 考証を積み重ねて作りあげられた壮 となるアイデ やアシモフによる大作のように、 ックのようにオフビー アをベースに緻密な

ものも少なくありません。のでオシマイ」みたいに、なが、話している当人が「もったらしきものがある話もな

に、途絶する

チらしきものがある話もあります去っています。二十一篇の中にはオそうした作為をみごとなまでに拭い

17っても同じ結果にといった科学的経験 ル描写はおおむら作家であっても、 篇の掌編を収めた短編集です。 『九百人のお祖母さん』打ち砕きました。 驚きの結末も、 そんなぼくの偏ったSF観を粉々に たまたま手に取ったラファティ

心揺さぶる独創性は、 もちろん書籍にも、 自然科学に つの時

こちに、 刺さっているからです。 三十代の半ばを軍隊で過ごし、 あまりに突拍子もないホラ話のあち なのに圧倒的な印象を残す 中・高等教育を通信教育で受け、 不定形の知性が乱雑に突き ラファティ か は、

辿りついた原理が正しいとは限らず、実ー 直観に頼った飛躍を交えている以上、注釈

(ないとう・やすひろ



環境情報学部准教授

専門は理論生物学

KEIO SFC REVIEW No. 65

は、

むね共通しています。

神経質なディテ









- 5 水落有起 (環境情報学部2年) 「学園祭の花火」
- 6 中川絵梨 (総合政策学部2年)

「鴨池の鴨からみたSFCって、たぶんこんな感じ」

- 7 中川絵梨 (総合政策学部2年)
- 「晴天のSFCにて、空撮とドローンレースの練習の合間に」
- 8 中川絵梨 (総合政策学部2年)

「学祭の秋、ハロウィンの秋」

SFCで撮影したベストショットを お待ちしております。 投稿先はこちら

Twitter:@KEIOSFCREVIEW
mail:keio-sfc-review@sfc.keio.ac.jp

■私にうつるSFC

普段見慣れたあの場所で新しい発見をする。 どこで写真が撮られたかを考えるのも楽しいかもしれない。



- 1 鈴木崚平(総合政策学部2年)「中秋」
- 2 鈴木崚平(総合政策学部2年) 「照明」
- 3 平澤茉衣 (環境情報学部2年)「秋の訪れ」
- 4 平澤茉衣 (環境情報学部2年) 「じー……」









89 KEIO SFC REVIEW No.65 私にうつる SFC 38

KEIO SFC REVIEW /

No.65

発行人

桑原 武夫 (湘南藤沢学会会長)

編集長

藤井 咲妃 (環境情報学部2年・県立長野高校出身)

副編集長

平澤 茉衣 (環境情報学部2年・韮崎高校出身)

編集スタッフ

坂本 美佳 (看護医療学部4年・宮崎北高校出身)

海老澤 秀美 (環境情報学部3年・田園調布雙葉高校出身)

田村 萌 (環境情報学部2年・丸亀高校出身)

植田陽 (総合政策学部] 年・ぐんま国際アカデミー高等部出身)

中村 真優 (環境情報学部 1 年·Bellevue High School 出身)

湘南藤沢学会

KEIO SFC REVIEW 担当幹事

國枝 孝弘 (総合政策学部教授)

事務局

田坂 真美

From Editor

KEIO SFC REVIEW65号を手にとってくださり、ありがとうございます。

今号では、変化の時を迎えるORFについて取り上げました。

今回の企画は「ORFっていつからあるのだろう」という一つの小さな疑問から始まりました。毎年開催されているORF。今でこそ当たり前に行われるイベントのように思えてしまいがちですが、一体何のために、いつから始まったのかと問われると答えに窮する人も多いのではないでしょうか。2017年現在、その役割はORF黎明期とは異なるものへと変貌しつつあります。

今年度のORFのメインテーマは「LAB IS THE MESSAGE」。展示方法は大きく変化し、ポスター展示もセッションも新たな仕組みが作られました。これがどのような結果へと行き着くかはまだ分かりません。しかしそれこそが「実験する精神」の表れであり、未来へと繋がる貴重な一歩なのではないかと思います。そんな実験を繰り返し前に進んでいく途中でも、一度立ち止まってその目的を深く考えたり、これまでの過程を振り返ってみたりする機会が必要かもしれません。KEIO SFC REVIEWがその一助となることができれば幸いです。

最後になりますが、快く取材にご協力いただいた 皆様に心よりお礼を申し上げます。

2017.11.08 藤井 咲妃

発行日

2017年11月22日

発行所

慶應義塾大学 湘南藤沢学会 〒 252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 5322 0466-49-3437 http://gakkai.sfc.keio.ac.jp/ gakkai@sfc.keio.ac.jp

製作・印刷

株式会社ワキプリントピア 〒 252-0815 神奈川県藤沢市石川 6-26-19 0466-87-5811

http://www.printpia.co.jp/

無断転載・複製を禁じます。

派別は報酬を表を示めた。 ご相談は慶應義塾大学 湘南藤沢学会までお寄せください。 最新号およびパックナンバーをご希望の方は湘南藤沢学会まで ご連絡ください。 KEIO SFC REVIEW は 学生編集スタッフを募集しています。

興味のある方は、keio-sfc-review@sfc.keio.ac.jp までご連絡ください。